五感使い創作楽しむ

「臨床美術」教室作品展　26日まで並木道公園

五感を使って創作することで脳を活性化させる「臨床美術」を普及させている川﨑昌代さん（丹波篠山市打坂）が指導している体験教室「森のアートクラブ」が、丹波並木道中央公園（同市西古佐）で作品展を開いている。丹波篠山市内5カ所で開く教室の教室生の作品約90点を展示している。26日まで。

恐竜の図鑑を見たり、話を聞いたりして描いた恐竜に、紙やすりや播州織の布などを組み合わせた立体感のある作品や、象形文字の「馬」が漢字へと変化した過程を学んだ後、「馬」の字で疾走感を表現した「絵馬屏風」、フジの花の香りをかいだり、触れたりした後、扇形の筆やスタンプを使い、風に揺れる様子を描いた作品などが並ぶ。

川﨑さんは、社会福祉士として同市社会福祉協議会、精神保健福祉士として香良病院デイケアで勤務経験がある。10年ほど前の社会福祉士会の研修時に臨床美術を体験したのをきっかけに日本臨床美術協会認定の資格取得を目指した。

体験教室は、同公園、西紀ふれあい館、げんき・げんきハウス（同市打坂）、味間ふれあい館、小山数学セミナー（同市魚屋町）で開いている。

アロマインストラクターの寺本秀代さん、県認定園芸療法士の植西恵子さんと共に癒やしをテーマにしたグループ「楽らく美香草（びかそ）」を結成し、合同で体験会を開いている。

五感を使って創作したユニークな作品が並ぶ臨床美術作品展＝丹波篠山市西古佐で